

# 第2学年通信

杉並区立西宮中学校

〈第2学年〉

令和2年5月7日 No.4

担当：南



いつか役者をやめることはあっても、本を読まなくなることはない。  
私にとっては寡黙な友であり、雄弁な師でもあるんです。

大河ドラマ「西郷どん」(2018年)にも出演した俳優のミムラさんの言葉です。しんと静まった雰囲気、セリフ以上を物語る彼女の演技は豊富な読書が支えているのだろうかと思像します。

臨時休業が始まって間もなく二か月、皆さんはどう過ごしていますか。家にいる時間が長いですが、せっかくの機会なので、普段時間がなくてなかなかできないこと、読書に取り組んでみてはいかがでしょうか。

今号では学年7名の先生方そして学校司書の清水先生が、皆さんのためにとっておきの本を紹介します。ちなみに私(南)は昨年亡くなった日本初の国連難民高等弁務官、緒方貞子さんのライフヒストリーを読んでいます。いつか皆さんにお伝えできればと思います。

## 大熊先生

「妖怪アパートの幽雅な日常」  
香月日輪著 講談社文庫  
主人公の成長を、ハラハラしながら楽しめる本です。主人公を支える個性的なサブキャラも魅力的で、一気に読めます。大事なことを沢山教えてください。

## 宮田先生

「中学生からの哲学「超」入門」  
竹田青嗣著  
ちくまプリマー新書  
「自分とは何か」、「幸せとは何か」など、答えのない問題を深く考えることが出来る本です。興味のある人はぜひ読んでみてください。

## 我妻先生

「マンガおはなし化学史」  
松本 泉 原作  
BLUE BACKS  
化学が苦手な人も、得意な人も、化学の歴史を楽しく学ぶことができます！現代の豊かさの基礎を学んでみては？

## 奥山先生

「みんなのなやみ」  
重松清著  
新潮文庫  
10代の悩みに対して重松さんが一緒に考えてくれる本です。ほんの数時間で読み終えることができます。

## 蟹江先生

「ご冗談でしょう、  
ファインマンさん」  
R.P. ファインマン著  
岩波現代文庫  
読み物として少し読みづらいかもしれませんが、登場人物に興味があれば、ぜひ調べてみてください。

## 高橋先生

「寅さん大全」  
井上ひさし監修 筑摩書房  
こんな時だからこそ、寅さんに会いたくなる。  
人情、思いやりのある寅さんに！

## 南先生

「蜜蜂と遠雷」  
恩田陸著 幻冬舎文庫  
コンクールを舞台に4人の若いピアニストの情熱がsparkします。「夢中になる好きな事があるっていいな。10代にもう一度戻りたいよ。」と思う今日この頃です。

## 学校司書 清水先生

「ゼロからトースターを作ってみた結果」  
T・トウェイツ著 新潮文庫  
トースターを本当にゼロから作ります。鉱山に行って鉄鉱石を掘り、製鉄するところから。写真多数、笑ったあと考えさせられる本です。

4月も終わり、青葉の緑が冴え冴えとしています。先週末は赤とピンクのツツジの花が雨上がりに輝いて、春の恵みを感じました。限られたスペースになるとは思いますが、身体も動かしてリフレッシュしつつ、体力が落ちないようにしていきましょう。連休中も元気に過ごしてください。